

【1 分解説】農泊とは？

総合調査部 研究理事 今泉 典彦

農泊（のうはく）とは、農山漁村地域に滞在し、地元の暮らしや農作業等を体験できる宿泊形式のことを指します。

農林水産省によれば、農泊の狙いは、古民家・ジビエ・棚田など農山漁村ならではの地域資源を活用した様々な観光コンテンツを提供し、農山漁村への長時間の滞在と消費を促すことにより、農山漁村における「しごと」を作り出すこととされています。

この農泊プログラムを通じて、訪問者は農山漁村の日常生活に参加し、季節ごとの作業体験、地域特有の料理を作ることや、伝統的な文化活動に触れる機会があります。都市生活とは異なる、自然豊かな環境での体験は、参加者にとって新鮮な刺激となり、心身のリフレッシュにも繋がります。

農泊は地域経済や地方創生にも寄与しています。訪問者が増えることで地域の特産品の販売促進に繋がり、地域活性化のきっかけともなります。今後、インバウンドの地方誘客と地方消費を促すため、農泊地域への誘客増大を図ることが必要不可欠になります。また、農泊事業者の生産性向上や宿泊等の単価再設定につながる高付加価値な農泊モデルの創出を進め、消費・所得創出効果の最大化と、農山漁村への移住・定住も見据えた関係人口の拡大を図ることも重要です。